



かいのき児童クラブ便り



子どもたちの豊かな学びのため

H26年度 夏 第3号 H26. 8. 27

第5回かいのきオリンピック



8月25日(月)に「第5回かいのきオリンピック」を開催しました。今回は、AMI学童保育センターの子ども達10人を招待しての開催となりました。今回AMIを招待したきっかけは、最初、AMIの方からドッジボールのお誘いがあったのですが、同じ日に高学年の取り組みとして、かいのきオリンピックを準備していたので、それならかいのきオリンピックに招待しては？と、指導員

プログラム

- 1、オリンピックについて
はじめのことば
- 2、ドッジボール
- 3、じゃんけん
- 4、たからさがし
- 5、カブラつみ
- 6、おやつ(かき氷、おにぎり、
カントリーマーム、ソーセージ)
- 7、プレゼントわたし
- 8、おわりのことば

からの提案で実現しました。高学年たちは最初「え～～！」と言いながらも、「かいのきオリンピックに招待します！」と手紙を出した事で、合同のかいのきオリンピックが実現しました。高学年たちは、夏休みに入って間もなく、今まで高学年がしてくれた楽しかったかいのきオリンピックの事を思い出しながら、自分たちだけで準備を始めていたのですが、AMIが来ることで、クラブの飾りつけやAMIへのプレゼントも用意しました。一緒に食べるためのおやつも考え、自分たちで朝からお母さんのように「早くおにぎりしなくちゃ。」と言ったり、低学年に手伝ってもらうために「かき氷の氷を多めにしてあげるから」とアルバイトに雇ったり、忙しそうにしながらも、一生懸命に準備をしました。「か



「ドッジするよ！」

いのきオリンピックは、男女に分かれてたたかいます。」というオリンピックの説明があり「今からかいのきクラブでかいのきオリンピックを始めます。今日はAMI学童保育センターの人と一緒にします。一緒に楽しみましょう！」と、はじめの言葉でスタート！ドッジボールを始めたら、すぐに天気が悪く



「人数は同じに・・・」

なって、予定していた王様陣取りが出来なくなり、プログラム通りに出来ない所もありましたが、高学年だけで説明したり、並ばせたりして、オリンピックを進めました。おやつは、高学年がみんなのために、せっせとかき氷を作ってくれました。プレゼントは、低学年が作った折り紙のくす玉、ミサンガ、お菓子でした。AMIの子ども達からは「今日は楽しかったです。また呼んでください！」と、嬉しいお礼の言葉をもらいました。



「じゃ～んけ～んほい」

人数が多くて高学年たちはまとめるのが大変なようでしたが、とても素晴らしい、かいのきオリンピックでした。



「そ～っとおいて・・・」



「プレゼントです！」

子どものせかい

—「みんなを喜ばせたい！」と始まったどろだんご屋さん—



外のテントの下では、たいてい誰かが光るどろだんご作りをしています。どろだんごを根気強く、何百回となくさら粉をかけては撫でいくと…不思議、不思議！！ピカピカに光り始めます！光り始めると大人でも感動します。

毎日光るどろだんごをせっせと作っている2年Yちゃん。「昨日よりもきれいに、早くできるようになった！毎日UP、UP！」と自信もついてきています。同じテントの下では「きれいな石はいかが〜。一色ぬり、二色ぬりありますよ〜。」と石屋さんが遊びを展開。それに触発され「どろだんご屋さんしよう」と指導員を誘うYちゃん。お店屋さんは、仲間関係を広げるのにはいいチャンス！みんなに知らせようとポスターを書くことをすすめました。

仲間が3人になりYちゃんが「高級だんごはきれいな石5個で買えますよ〜」と作りながら宣伝すると、「色をぬった石はだめ！簡単すぎる！だんごがすぐなくなるが」と言うMちゃん。「すぐなくなったら予約制にしたらいが！みんなを喜ばせたいんよ！」普段は控えめだけれど、きっぱりと言うYちゃん。「予約してもなかなかできなくて遅いなあってなったらどうするん！？」「みんなを喜ばせるためには遊び時間もなくていっぱい作る！」

とにかくピカピカ光るようになったどろだんごを他の人にも分けてあげ、喜んでほしいと考えているYちゃんと、時間をかけて作った貴重などろだんごだからこそ、対価は簡単なものではなく、カナヘビなどの生き物と交換したいと考えているMちゃん。ただ、カナヘビを捕まえるのは難しく、お客さんが来ないことも考えられます。

何と交換するか、結論はなかなか出ないまま、とにかく「喜ばせたい」というYちゃんの熱意におされ、どろだんご屋さんとしてのどろだんご作りが始まりました。

おもしろいからこそ広がる仲間

どろだんご屋さんのどろだんごは、光らせるだけでなく、発想が実にユニーク。みんなが喜んでくれるよういろいろな工夫をしています。花がさせるようにと穴をあけたもの、ハート型のもの、ペットボトルのふたにどろを盛りつけカップケーキ状にしたもの。ヨモギをすりつぶしたり、ハーブを家からもってきて霧吹きで匂いをつけてみたり…乾いたものには絵までつけています。今まで“粉ふるい”でさら粉を作っていたのが、ストッキングで細かなさら粉ができることも発見！

型にはまらず、遊びのおもしろさがどんどん広がるにつれて仲間も次第に増え、ただいま8名。大勢になればなるほど、意見がくい違い、あわや解散か…？と心配するようなこともあります。その都度話し合い、やめるのではなく、つながって遊ぼうとしています。それぞれの思いを受けとめながら仲間としてのつながりを作っていきたいと思います。